

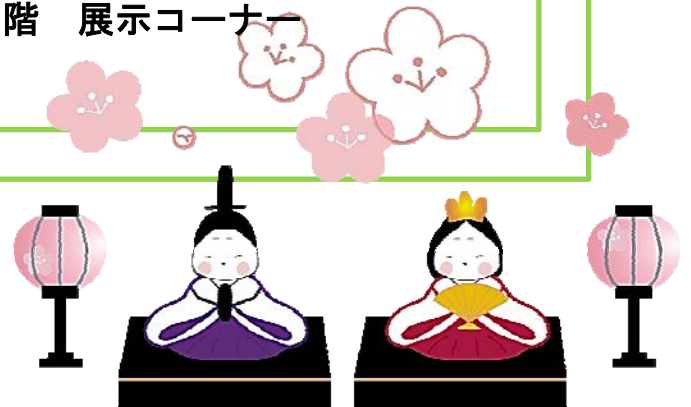
第5回 個性づくりテーマ展示

《児童福祉》

不登校・ひきこもりを見つめて

展示期間 2月25日～4月25日

展示場所 南台図書館2階 展示コーナー

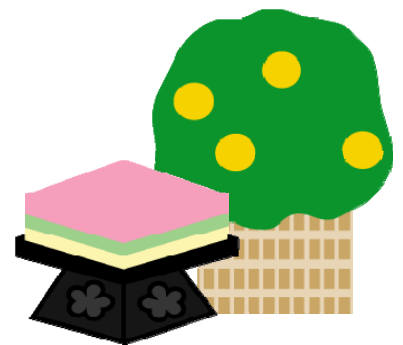


ここ数年、子どもの不登校やひきこもりが問題となっています。

大切なのは原因を追究することではなく、焦らずその子の気持ちに寄り添うことではないでしょうか。

今回の展示がそのきっかけとなれば幸いです。

展示資料は貸し出しもできます。



中野区立南台図書館

03-3380-2661



不登校・ひきこもり



文部科学省の調査によると、毎年10万人以上の小中学生が不登校になっています。ひきこもりに関しては定義が難しいため全国的な調査は行われていませんが、研究者の間では100万人を超えると言われています。

不登校やひきこもりは何かひとつの出来事によって引き起こされるものではなく、様々な要素が関連していると考えられています。また、子どもたちが抱えている悩みもひとりひとり違います。思いがけないことで苦しんでいることもあるのです。



一般論や固定観念にとらわれず、まずは子どもと向き合って対話をしてみてはいかがでしょうか。原因や責任を追究するのではなく、子どもが今どんなことを考えているのか、どんなことに悩んでいるのかを知ることで固く閉ざされた心を解きほぐせるかもしれません。

不登校・ひきこもりの子どもたちの進路を調べた統計によると、多くの子どもが一度不登校になってもその後数年で就学、就労などにより自分の居場所を見つけています。不登校は小さなつまずきであって大失敗ではないのです。不登校の子どもたちの将来は決して悲観的ではないともいえるでしょう。

◆参考資料・参考HP◆

『不登校・ひきこもりの心がわかる本』 磯部 潮監修 講談社 2007年
(中央図書館)(野方図書館)

『不登校・中退からの学校探し』 学研編 学研 2008年

文部科学省 <http://www.mext.go.jp/>





フリースクール&フリースペース



フリースクールとフリースペースは、どちらも通学できない子どもたちの居場所として重要な役割を担っています。以前はフリースクールを卒業しても、進学に必要な学校の卒業資格は得られませんでした。しかし、現在では在籍している学校長の裁量によって学習指導要領上、出席扱いすることができるようになりました。

生徒とスタッフを合わせて10人にも満たない小さいスクールもあれば、在籍者数が100人を超える大きな団体もあり、考え方や活動内容も様々です。子どもたちが自分らしくいられる場所に出会い、のびのびと過ごせるようになるといいですね。

学校復帰が目標のスクール

学校に戻ることを希望している子どもを対象にしたスクール。在籍している学校と連絡を取り合い、在籍校の勉強の進度に合わせて学習指導を行います。



共同生活をするスクール

寮などで寝食を共にしながら、学習面だけでなく生活習慣もサポートするスクール。起床・就寝時間等を厳しく指導するスクールもあれば、本人の意向を尊重して昼夜逆転の生活を続けさせる所もあり、方針は様々です。

専門家が支援するスクール

学習障害、発達障害がある子どもには、専門家が支援するスクールもあります。専門のスタッフが本人や保護者のカウンセリングをしたり、各人の特性を理解した上で学習面のサポートをしたり、生活をスムーズに送れるように支援をします。

スタッフが自宅訪問するスクール

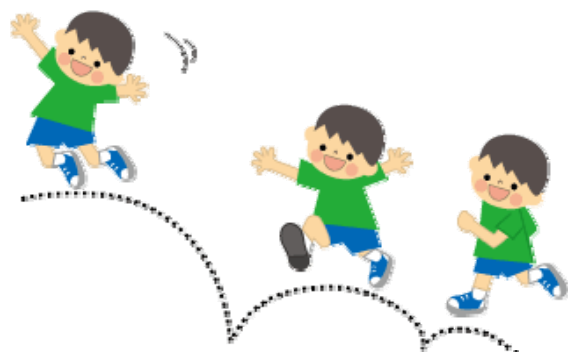
子どもがフリースクールに通うことが難しい場合は、スタッフが自宅を訪問するスクールもあります。外出が苦手、知らない人の間に入りづらいという子どもに適しています。

フリースペース

フリースクールが主に学習機会を提供しているのに対し、フリースペースはあくまで居場所を提供することが目的です。子どもたちはスタッフとおしゃべりをしたり、ひとりで本を読んだり、自由に過ごすことができます。団体によっては課外活動のようなことや行事を行う所もありますが、参加は本人の自由です。

◆参考資料◆

『小中高・不登校生の居場所探し』 学びリンク 2011年
(上高田図書館)



展示資料の紹介

輝ける子 371.4 ア

明橋 大二著 1万年堂出版 2002年

ひきこもりや少年犯罪など現代の子どもたちを巡る問題の根底にあるのは、しつけがされていない、甘やかされているという理由ではなく、“自分に存在価値があると思えない”といった自己評価の極端な低さだと著者は述べています。

その背景を親子関係、学校、今という時代の3つの側面から分析し、子どもたちにできること、子どもたちの心を開かせる方法を紹介しています。

巻末には、実際にあった相談について回答したQ&Aも掲載されています。

約束 913.6 イシ

石田 衣良著 角川書店 2004年

「なぜ、皆と同じように学校に通わなくてはいけないのか」

そうした疑問を抱いた『夕日へ続く道』の主人公雄吾は、学校へ行くことにバカらしさを感じ、公園のベンチに座って無味乾燥な日々を送ります。

その公園で廃品回収の源ジイと出会い、彼の中に変化が生まれていきます。

その他、痛みを背負った人々の心模様が描かれた短編集です。

児童福祉展示リスト

感じてみる

- * 自立クライシス 371.4 カ
金子由美子著 岩波書店 2007年
- * つまずく若者たち 371.4 ク
倉本英彦著 日本評論社 2007年
- * ひきこもれ 371.4 コ
吉本隆明著 大和書房 2002年
- * 傷つきやすくなった世界で 914.6 イシ
石田衣良著 日本経済新聞出版社 2008年

彼らを取り巻く今と将来

- * 大学教授になった不登校児 289.1 コ
久保治雄著 第三文明社 1998年
- * 家族力×相談力 367.3 ダ
団士郎著 文芸春秋 2008年
- * 登園しぶり登校しぶり 371.4 ウ
内田良子著 ジャパンマシニスト社 2009年
- * 不登校という生き方 371.4 オ
奥地圭子著 日本放送出版協会 2005年
- * 学校に行かなかった私たちのハローワーク 371.4 ガ
東京シューレ編 東京シューレ出版 2005年
- * 母さん、ぼく学校へ行けたよ！ 371.4 ハ
林礼子編著 講談社出版サービスセンター 2005年
- * 小中高・不登校生の居場所探し 376.8 シ 10
学びリンク 2010年
- * 「まっ、いいか」と言える子を育てよう 379.9 ス
諏訪耕一著 黎明書房 2007年

原因はあるの？

- * 不登校・ひきこもりQ&A 371.4 イ
稲村博著 誠信書房 1993年
- * 不登校・登校拒否は怠け？病い？ 371.4 フ
教育科学研究会編 国土社 1991年
- * 大人が知らないネットいじめの真実 371.4 ワ
渡辺真由子著 ミネルヴァ書房 2008年
- * 思春期のアスペルガー症候群 493.9 シ
佐々木正美監修 講談社 2008年
- * あなたの子どもは「うつ」かもしれない
493.9 ア
安部結貴著 実業之日本社 2009年
- * 発達障害 493.9 ハ
太田昌孝編 日本評論社 2006年

リストに載っていない資料もありますので、棚をご覧ください。

不登校・ひきこもりについて調べてみよう

不登校・ひきこもりについて、より知識を深めたい方もいらっしゃるかと思います。
ここでは、不登校・ひきこもりについての資料・情報の調べ方を紹介します。

1. 情報検索のキーワード

不登校・ひきこもりについて調べる際に幾つかのキーワードがあります。
これらを使うことで、より効率的な調べ方ができます。

不登校／ひきこもり／登校拒否／高等学校卒業程度認定試験(高卒認定)
保健室登校／相談室登校／適応指導教室／フリースクール／フリースペース／居場所
発達障害／ADHD／いじめ／うつ病／虐待／怠学
児童福祉／スクールカウンセラー／スクールソーシャルワーカー

2. 基本的な情報を調べる

(ア)用語・データを調べる

資料情報	請求記号	所蔵館
世界大百科事典 平凡社 2009年	031 セ 34	南台図書館
現代用語の基礎知識 2012 自由国民社 2012年	031 ゲ 12	南台図書館
子ども・若者白書 平成23年版 内閣府編 佐伯印刷 2011年	R367.6 コ 11 367.6 コ 11	(中央図書館参考資料室) (本町図書館)

(イ)テーマの棚を調べる

分野	分類記号	分野	分類記号	分野	分類記号
児童問題	367.6	児童福祉	369.4	児童心理	371.4

(ウ)不登校・ひきこもりに関する図書を調べる

中野区立図書館ホームページの蔵書検索を使って調べる

→<http://www3.city.tokyo-nakano.lg.jp/tosho/>

資料情報	請求記号	所蔵館
不登校・引きこもり・ニート支援団体ガイド 不登校情報センター編 子どもの未来社 2005年	371.4 フ	南台図書館
不登校・中退からの学校探し 学研編 学研 2008年	376.8 フ	南台図書館
登校拒否とカウンセリングルーム 不登校情報センター編 桐書房 2000年	371.4 ト	中央図書館

(中野区未所蔵の場合) 東京都内公立図書館で所蔵されている図書を探す

→<http://www.library.metro.tokyo.jp/>

(エ) 雑誌・新聞を探す

雑誌を探す→「児童心理」(金子書房)(中央図書館)

「おそい・はやい・ひくい・たかい」(ジャパンマシニスト)(野方図書館)

原紙(朝日・毎日・読売・産経・東京・日経)→南台図書館1階新聞コーナーにあります。

毎日新聞縮刷版→南台図書館2階大型本コーナーにあります。

3. 関連機関のご案内

* **フリーステップルーム**: 不登校の中学生の学習相談、学習指導、学校復帰の援助
(平日 午前9時～正午)

教育相談: 子どもの教育問題についての面接相談や電話相談

(平日 午後1時～午後4時半)

→南部教育相談室

〒164-0001 東京都中野区中野2-27-22 TEL:03-3381-3391

→北部教育相談室

〒165-0027 東京都中野区野方5-33-7 TEL:03-3310-9244

* いじめ等で悩んでいる子どものための電話相談

→子ども110番 TEL:03-3389-6980

(平日 午前9時～午後5時)

* 東京都教育相談センター <http://www.e-sodan.metro.tokyo.jp/>

〒113-0033 東京都文京区本郷1-3-3

→電話相談 TEL:03-5800-8008

(平日 午前9時～午後9時

土日祝日 午前9時～午後5時)



南台図書館からのお知らせ

当館では、年間を通して下記の児童向け行事を予定しております。

5月上旬 「子ども読書の日」記念おはなし会

7月上旬 たなばた おはなし会

7月下旬 「戦争と平和を考える」おはなし会

12月下旬 クリスマス おはなし会

*対象 小学校低学年位まで *全て午後実施する予定



ねえ、お母さん
僕も、行きたい！

場所はわかっているの？



知ってるよ！

南台図書館の階段上がって、**2階にあるおはなしのへや**でし
よ。

申し込みは不要です。直接お越しください。

日程等の詳細は、図書館ホームページを

ご覧いただくか、当館までお問い合わせください。

